

令和元年度
宮崎県立図書館要覧



<目 次>

.....	【第1部】
1 運営方針		2
2 令和元年度の主な取組		3
3 組織		6
4 当初予算		7
.....	【第2部】
1 資料概要		10
(1) 配架別・分類別資料数		10
(2) 資料購入の推移		10
(3) 資料整備状況		11
(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況		11
(5) デジタルアーカイブの状況		11
2 事業実績		12
(1) 利用事業（総括）		12
① 年度別貸出利用状況の推移		12
② 貸出利用地区別内訳		13
(2) 館内利用事業		14
① 延入室者数及び貸出冊数の推移		14
② 入館者数、登録者数、貸出冊数		15
③ 分類別図書貸出冊数		15
④ AVコーナー資料の利用状況の推移		15
⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）		16
⑥ 調査相談（レファレンス）		16
⑦ YA（ヤングアダルト）サービス		16
⑧ みどりの図書コーナー		16
⑨ 児童サービス		17
⑩ ビジネス支援サービス		17
⑪ 健康情報サービス		18
⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況		18
⑬ 複写サービス利用状況の推移		19
⑭ 各種相談事業		19
⑮ 障がい者等サービス		19
(3) 館外利用事業		20
① やまびこ文庫		20
② セット文庫		21
③ 子育て支援図書セット貸出		22
④ 団体文庫		22
(4) 図書館ネットワーク事業		23
(5) 訪問支援		24
(6) 視聴覚事業		24
① 視聴覚資料等貸出月別利用状況		24

② 視聴覚行事	25
(7) 関係機関と連動した情報発信事業	26
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	26
② 県立図書館ロビー展（主催事業）	27
③ 県内公共図書館における巡回展	28
(8) 文化活動事業	29
① 第60回「こどもの読書週間」関連行事	29
② 第72回「秋の読書週間」関連事業	29
③ 特別展等	30
④ 郷土史料等学習活動	31
⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業	32
⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業	33
(9) 郷土資料調査研究事業	34
① 『宮崎県史料』	34
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	34
③ デジタルアーカイブ事業	34
(10) ホームページ等活用事業	35
(11) 体験学習・施設見学	35
(12) 「かば先生文庫」	36
(13) 講演会等の主催・共催	36
① 「神話のふるさと県民大学」	36
② 「わくわく文芸講座」	37
③ 「みやざき自然塾コロキウム」	37
(14) その他の取組	38
① 「大人のためのおはなし会」	38
② 「理科読」教室及び指導者育成研修講座	38
3 各種協議会等	39
(1) 県立図書館協議会	39
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	40
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	42
(4) 令和元年度宮崎県立図書館資料推薦委員	44

..... 【参考資料】

1 沿革	46
(1) 県立図書館の歩み	46
(2) 歴代館長名	56
2 県立図書館条例・規則	57
3 施設概況	63
4 利用案内	64
5 市町村立図書館一覧	65

【 第 1 部 】



「6月1日は世界牛乳の日」企画展

県立図書館では、県の重点施策や地域の課題等について広く県民の皆様を知っていただくとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的に「県政の重点施策情報発信事業」を実施しています。

平成30年度は、県や国等の関係機関と連携し、42事業のギャラリー展をはじめ各種イベントや相談会等を実施しました。

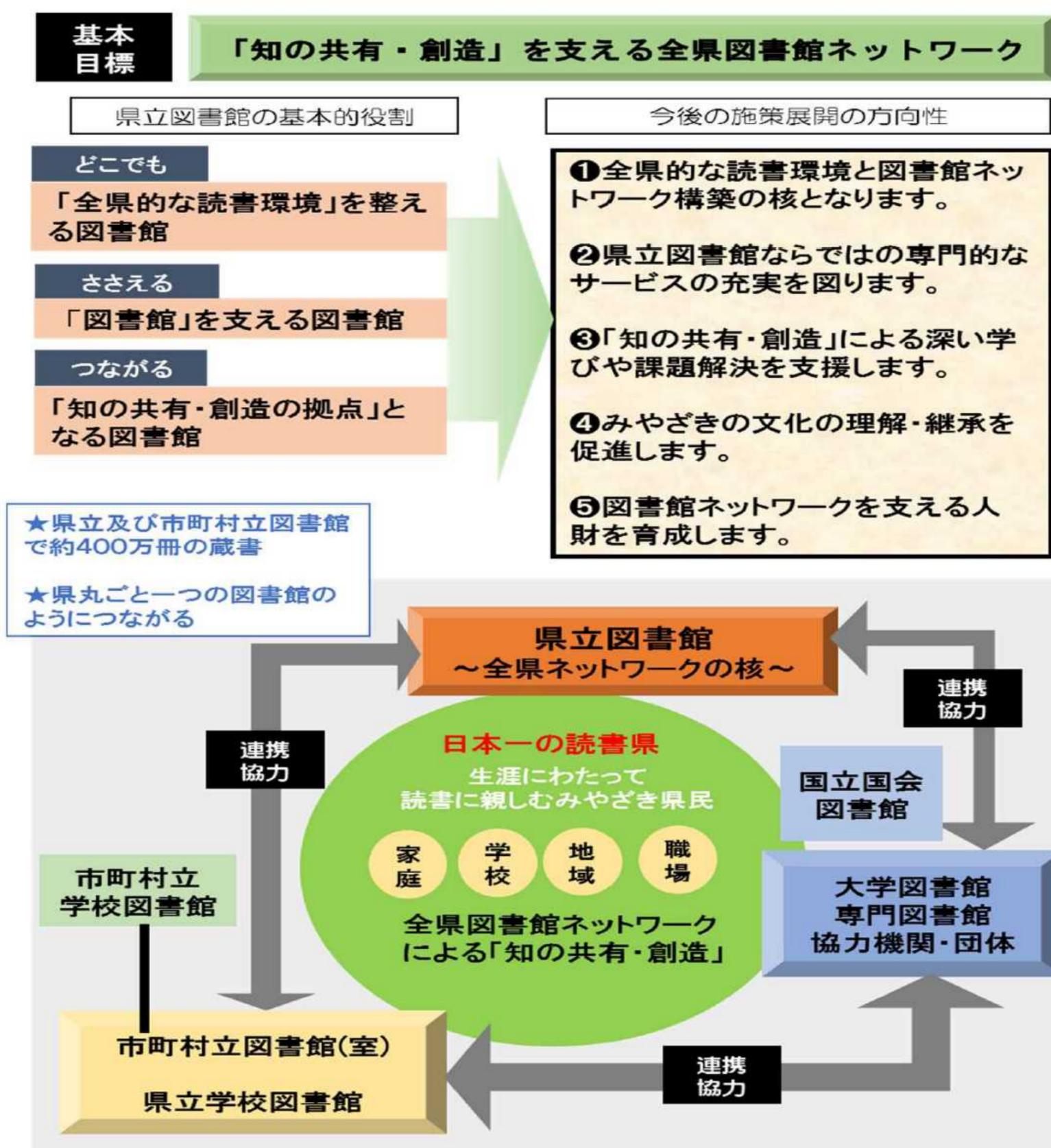
令和元年度宮崎県立図書館運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にした平成30年度から向こう10年間の「県立図書館ビジョン」を、平成29年12月に策定しました。

当該ビジョンにおいては、《「知の共有・創造」を支える全県的な図書館ネットワーク》を基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

■県立図書館ビジョンの全体像



そして、これを具体化し、着実に実行するため、平成30年度から向こう3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を定めた「第1期アクションプラン」を、平成30年3月に策定したところです。

このため、令和元年度においては、これらを踏まえ、下記の5つの「今後の施策展開の方向性」に沿った施策を積極的かつ総合的に展開します。その中で、「重点取組事項」として下記の5つを定めます。

《今後の施策展開の方向性》

- I 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核
- II 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実
- III 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- IV みやざきの文化の理解・継承の促進
- V 図書館ネットワークを支える人財の育成

《重点取組事項》

- 事項1 県民の「生涯読書活動」の推進
- 事項2 学校図書館に対する総合的な支援の強化
- 事項3 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- 事項4 本県の言語文化の継承
- 事項5 専門的人財の育成・確保

2 令和元年度の主な取組

(1) 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

- ① 図書配送システム「マイラインサービス」や「やまびこ文庫」の制度周知を積極的に行うとともに、「マイラインサービス」の接続先の拡充について必要な協議・検討を行う。
- ② 県立図書館内の組織横断的な「市町村支援チーム」によって市町村立図書館（室）等を定期的に訪問し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を行う。
- ③ 公立図書館職員の資質向上に資するとともに県民の読書振興や課題解決につながる専門性の高い研修を実施する。
- ④ 県立学校の学校司書や市町村教育委員会等との連携を密にして学校図書館の運営やスキル向上のための支援を行うとともに、学校図書館を利活用した読書活動及び児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の推進に関して、関係機関が連携した総合的な支援機能のあり方を検討する。
- ⑤ 市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を積極的に行い、「顔の見える関係」づくりを進める
- ⑥ 宮崎大学をはじめとする県内の大学との連携協力を推進する。

- ⑦ 所蔵資料の収蔵対策の検討、老朽化対策、危機管理対策及び図書館情報システムの更新に向けて取り組む。

(2) 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

- ① レファレンスサービスの充実を図るため、専門機関との連携を進めるとともに、国立国会図書館協同データベースの活用や担当職員的能力向上に努める。
- ② 市町村立図書館（室）との役割分担により、専門的な資料・情報の計画的な収集・整理・保存・提供に努める。
- ③ 新学習指導要領に対応した調べ学習用図書の選定・収集を行うとともに、「世界ブランド」を目指す分野について、市町村立図書館（室）と連携して資料の収集・共有に努める。
- ④ 「乳幼児や小学生」「中・高校生」「大学生・若者」「子育て・就労世代」「高齢者」「障がい者」の「生涯読書活動」の推進を図るとともに、小学生・中学生・高校生・一般県民を対象とした「大切なあなたへ贈る 私の1冊」の募集・普及やモデル性の高い読書スタイルの提案・実施に取り組む。
- ⑤ 読書に係る知識・技術の向上に向けた研修など、読書活動推進団体に対する支援を行う。
- ⑥ ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスの強化を図る。

(3) 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

- ① 当館の情報資源や取組の紹介、課題解決に向けた情報提供を、ホームページ、SNS、広報誌等を通じてよりわかりやすく、かつ、適時・的確に行う。
- ② 利用者の深い学びやより効率的な課題解決が促進されるよう、効率的・多面的な情報アクセス環境の整備に努める。
- ③ 相談のワンストップサービスの窓口としてのスキル向上に努めるとともに、関係機関・団体等との連携を推進する。
- ④ ギャラリー展、各種相談事業、児童・生徒の調べ学習の来館受入れや学校現場における調べ学習の支援等、多様な情報サービスや学習機会の提供に努める。
- ⑤ 「知の共有・創造の拠点」としての蔵書、データベース等の情報資源やレファレンス機能の充実・強化を図る。また、個人や団体、産学官の関係者など多様な主体が集い、図書館の施設や情報資源を活用しながら対話や議論を通じて学びを深めるラーニング・コモンズの間としての利活用を促進する。

- ⑥ 県行政機関や県内自治体への参考情報等の周知やレファレンスなど、政策立案に対する支援を行う。
- ⑦ 地域の課題解決に向け、市町村立図書館（室）が行うレファレンスや市町村職員の資質向上を支援する。

(4) みやざきの文化の理解・継承の促進

- ① 市町村立図書館（室）に対する調査や情報交換を通じて県と市町村の役割分担を検討・整理しつつ、地域資料の収集計画を策定し、効率的・効果的な収集・保存に努める。
- ② 特別展や企画展を通じて、歴史・文化はもとより、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。
- ③ 県立図書館及び市町村立図書館等の所蔵する地域情報に関する貴重資料の調査を行い、情報の集約に努め、デジタル化・データベース化を推進する。
- ④ 本県の言語文化の継承のため、翌年度に開催される国文祭・芸文祭に向けて、神話・民話の「語り部」の資質向上や活動機会の拡充を図る。
- ⑤ 本県の言語文化の素晴らしさを後世に伝えるため、『みやざきの言の葉』のさらなる普及・活用を図る。

(5) 図書館ネットワークを支える人財の育成

- ① 幅広い知識や技能、実務能力及びネットワーク力を有する人財の育成・確保に計画的に取り組む。
- ② 専門的な実務能力の向上を図るための研修や、利用者サービスの向上に資する研修等を行い、職員の全体的な資質向上に努める。
- ③ 高度なニーズに対応できる幅広い知識や技能等が得られる人事配置のあり方を検討する。
- ④ 市町村立図書館（室）との人事交流や中長期の研修受入れについて、市町村の意向を踏まえながら検討する。
- ⑤ 図書館の運営やサービスの動向等に関する情報収集や、職員が受講した専門研修の成果の全職員での共有に努め、館全体でのスキル向上を図る。
- ⑥ 利用者ニーズや社会の動向等を踏まえて運営やサービス等の改善に取り組むとともに、図書館評価（自己評価及び外部評価）を毎年度実施し、随時必要な業務改善に努める。

3 組織

(1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員26	1	1	1	2	5	1	8	1	3	1	2

(2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p>	<p>総務・企画課 山田 真也</p>	<p>総務担当 阿波野 ゆかり 滝口 みき 宮之原 あい 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・庁舎管理(施設・設備営繕、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画 ・給与及び旅費、報酬、賃金、報償、臨時職員の任用、非常勤職員の勤務・休暇整理 ・文書管理 ・連絡調整(館内、環境情報センター、全国公共図書館協議会、日本図書館協会、九州図書館長会等) ・館内行事予定(週間行事、日々行事等) 	
		<p>企画担当 清家 智子 中 啓子 田村 桃子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・図書館広報、県政の重点施策情報発信事業(ギャラリー展及び関連イベント) ・図書館情報システム、ホームページ及びフェイスブック、情報セキュリティ等の運営管理 ・「知の共有・創造」の場づくりの企画・運営 ・モデル的な読書スタイルの企画・提案 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等 ・各種相談事業等の共催、調査統計 	
		<p>資料管理担当 安藤 道子 富士本 伸二 池田 真智子 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間 ・資料費の予算執行 	
<p>館長 中原 光晴</p>	<p>副館長 甲斐 久志</p>	<p>専門主幹 野邊 文博</p>	<p>普及支援担当 曾我部 美佳 坂尾 知宏 飯野 小巻 有田 雅代 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用 ・マイライン運営普及 ・視聴覚事業、AVコーナーの保守管理 ・読書団体振興、施設利用(読書振興室) ・神話の源流みやざき「語り部」養成活用推進事業(郷土情報支援)
			<p>郷土情報担当 崎田 一郎 西國原 正昭 非常勤郷土資料研究員1名 非常勤郷土資料調査員1名 非常勤奉仕相談員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の収集・保存・整理・活用 ・貴重資料の収集・保存・整理・活用、デジタルアーカイブ ・県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・展示会(特別展・企画展・巡回展) ・地域情報の調査相談、「宮崎の文学散歩」刊行 ・宮崎県地方史研究連絡協議会事務局 ・神話の源流みやざき「語り部」養成活用推進事業
			<p>情報提供担当 加藤 恵 戸高 瑞代 川野 香 井手上 和代 上米良 綾子 若松 里奈 非常勤奉仕相談員11名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、行政資料 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・ヤングアダルトサービス ・複写サービス、情報活用講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約 ・利用データの統計・管理 ・高齢者・障がい者サービス
<p>情報提供課 堀永 昌平</p>				

4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,780 千円	
財産運用収入	1,780	
財産貸付収入	1,780	
公募型財産貸付料	1,780	県立図書館自動販売機
繰入金	1,693 千円	
基金繰入金	1,693	
産業廃棄物税基金繰入金	1,253	
産業廃棄物税基金	1,253	リサイクル活動資料整備
観光みやざき未来創造基金繰入金	440	
観光みやざき未来創造基金	440	神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業
諸収入	829 千円	
雑収入	829	
雑収入	829	
雑収入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円
県債	38,100 千円	
県債	38,100	
教育費	38,100	
県立図書館施設整備事業費	38,100	県立図書館老朽化対策事業

(歳出)

事業名	予算額	事項名	説明
図書館費	128,664 千円	1 管理運営費 75,405 千円	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会 228	図書館協議会の運営に要する経費 (委員9人・年2回)
		3 県立図書館老朽化対策事業 53,031	屋上防水改修工事(工区2)、電気・受電設備更新設計委託に要する経費
図書館サービス推進費	122,716	1 館内奉仕・巡回文庫用資料整備 40,722	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 郷土新聞保存整備事業 1,033	郷土新聞の保存に要する経費
		3 館内奉仕活動費 74,310	資料の提供、非常勤職員人件費等、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費
		4 文化活動推進費 404	文化講座(年3回)、古文書講座(年5回)開催に要する経費
		5 読書普及推進費 527	団体文庫の育成、公用車の維持管理、読書普及活動の推進に要する経費
		6 AV活動推進費 1,459	AV機器及びAV資料の管理、映写会、コンサート、AV資料貸出等に要する経費
		7 図書館ネットワーク推進事業 945	図書配送費、市町村図書館支援のための派遣旅費
		8 インターネット通信事業 350	インターネット通信に要する経費
		9 みどりの図書館づくり推進事業 1,243	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費(オンラインデータベース等)
		10 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 771	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		11 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業 512	「大切なあなたへ贈る 私の一冊」作品募集・表彰、ブックリスト作成に要する経費
		12 神話の源流みやざき「語り部」養成・活用推進事業 440	語り部スキルアップ講座、語り部の活動機械の拡充、2020年国文祭・芸文祭に向けた対応に要する経費
郷土資料調査研究事業推進費	7,086	1 史料刊行費 3,910	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 貴重資料の修復・保存 3,176	貴重資料の修復・保存に係る非常勤職員報酬等
合計	258,466		

【 第 2 部 】



トークセッション『「本で世代をつなぐ」～私のすすめるこの1冊～』

中・高生を中心とした各世代を対象に、本の魅力に触れ生きる力や創造力を育む機会を提供し、世代をつなぐ読書活動を推進していくため、中学生・高校生・一般の方を対象に、中・高生に伝えたい「おすすめの1冊」を募集しました。

1, 461作品もの応募の中から入選者15名を決定。平成30年10月に開催した歌人の大口玲子氏とのトークセッションでは、入選発表者6名が各世代の代表として意見発表を行ったり、「おすすめの1冊」から得られた感動や体験、読書への熱い思いなどを会場の聴講者と共に分かち合ったりしました。

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶺南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

(1) 配架別・分類別資料数（平成31年3月31日現在）

単位（冊・点）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	10,559	940	37,351	992	381	464	50,687	6.4
1 哲学	4,861	270	18,862	963	112	3	25,071	3.2
2 歴史	13,718	1,574	52,857	2,903	923	298	72,273	9.2
3 社会科学	24,577	2,483	139,394	5,534	2,223	361	174,572	22.1
4 自然科学	13,768	3,868	40,122	5,653	1,099	23	64,533	8.2
5 技術	12,337	1,540	37,656	5,471	751	22	57,777	7.3
6 産業	11,465	863	35,409	2,109	506	10	50,362	6.4
7 芸術	10,495	2,774	40,616	5,139	7,593	73	66,690	8.5
8 言語	3,143	579	9,376	1,065	146	44	14,353	1.8
9 文学	26,785	17,954	130,537	36,715	352	191	212,534	26.9
計	131,708	32,845	542,180	66,544	14,086	1,489	788,852	100

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	26		27		28		29		30	
	購入数	金額								
図書	7,828	24,810	11,732	35,361	14,038	43,147	11,363	33,454	11,144	35,860
逐次刊行物	3,099	5,028	3,303	4,954	3,351	5,225	3,449	5,543	3,487	5,422
A V 資料	133	862	74	1,194	90	1,004	70	1,323	37	770
計	11,060	30,700	15,109	41,509	17,479	49,376	14,882	40,320	14,668	42,052

※26・27年度は子ども読書活動推進事業を含む。

※28年度は日本一の読書県を目指した総合推進事業を含む。

(3) 資料整備状況

① 資料受入（平成31年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	平成30年度受入資料数		総資料数
図 書（A）	15,788		718,590
逐次刊行物（B）	6,486	新聞 44種	52,058
		雑誌 404種	
A V 資料（C）	248		18,204
合 計（A+B+C）	22,522		788,852

② 資料受入区分別・分類別資料数（平成31年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	1,013	422	51				2		1	1,489
1 哲 学	326	107				1	2		1	437
2 歴 史	914	534				12	2			1,462
3 社会科学	2,635	2,003	22			1	8		27	4,696
4 自然科学	1,689	428					19		1	2,137
5 技 術	1,437	372	41				20		3	1,873
6 産 業	857	697			8	1	4		4	1,571
7 芸 術	1,732	447			4		14		114	2,311
8 言 語	293	13					5			311
9 文 学	3,772	1,017			1,327	1	117		1	6,235
計	14,668	6,040	114		1,339	16	193		152	22,522

(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（平成31年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,012
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	4,056

(5) デジタルアーカイブの状況（平成31年3月31日現在）

- ・ 993件 約5万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開。
- ・ 電子化が終了した史料は4,373点、閲覧用デジタルデータで約20万コマ。
- ・ 電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩嶋津家文書、嶺南文庫など。
- ・ 現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩嶋津文庫の電子化を進めている。

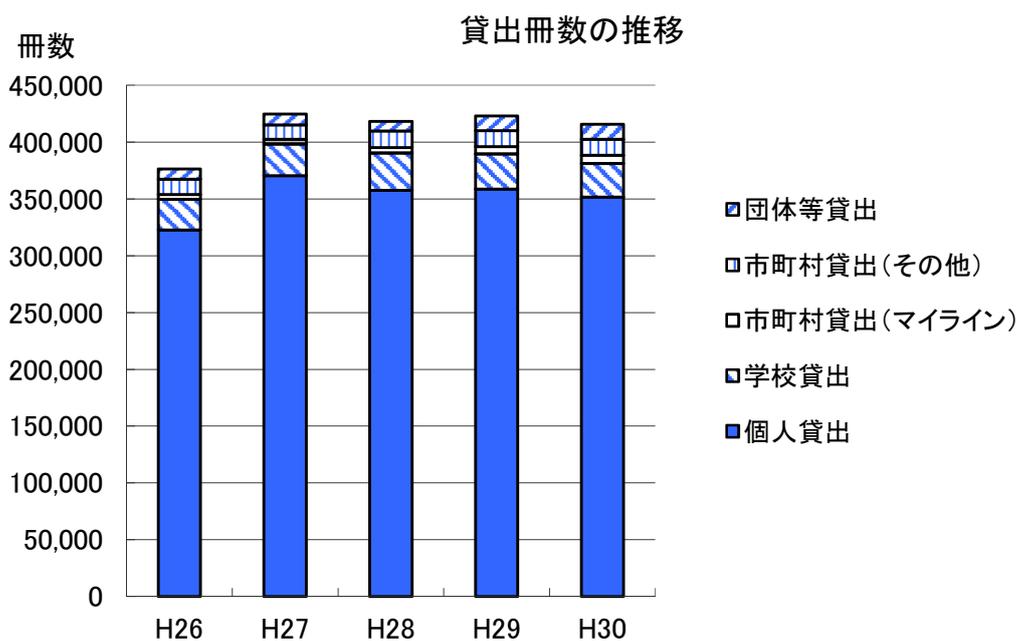
2 事業実績

(1) 利用事業（総括）

① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度					
		2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	
開 館 日 数(日)		298	302	300	299	300	
入 館 者 数(人)		484,701	502,564	468,732	476,569	475,346	
(1 開 館 日 当 たり)		1,627	1,664	1,562	1,594	1,584	
登 録 者 数(人)		7,400	8,447	8,005	7,052	7,700	
累 計 登 録 者 数(人)		247,872	256,319	264,324	271,376	279,076	
(1 開 館 日 当 たり)		25	28	27	24	26	
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出	322,803	370,359	357,653	358,695	351,695	
	(1 開 館 日 当 たり)	1,083	1,226	1,192	1,200	1,172	
	マ イ ラ イ ン	4,107	4,294	4,900	6,351	7,143	
	巡 回 文 庫	13,158	11,800	—	—	—	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト	324	810	891	891	1,020	
	やまびこ 文庫	町 村 支 援 事 業	—	—	12,300	11,800	11,550
		学 校 支 援 事 業	—	—	32,680	30,910	29,550
		大 量 貸 出 事 業	—	—	1,495	1,413	1,604
		児 童 教 育 施 設 事 業	4,077	4,539	3,714	5,334	5,037
	学 校 貸 出	26,896	27,910	—	—	—	
	セ ッ ト 文 庫	—	—	893	4,363	4,850	
	団 体 貸 出	4,922	4,856	3,533	3,129	3,140	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	100	74	43	41	17	
	合 計	376,387	424,642	418,102	422,927	415,606	

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より事業開始。セット文庫は、平成 28 年度より事業改定。



② 貸出利用地区別内訳 (平成 30 年度)

単位 (冊)

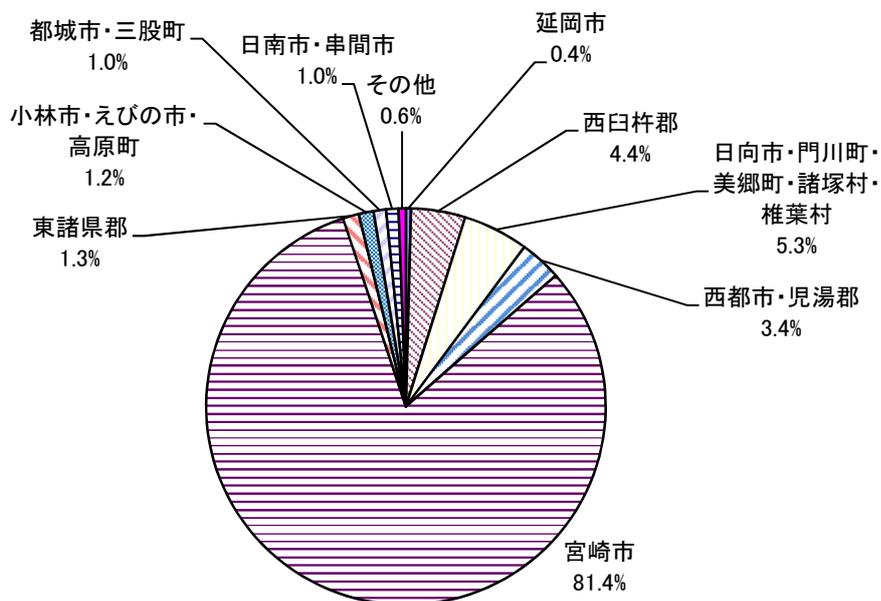
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	1,175	461				1,636
	0.3%	6.5%	-	-	-	0.4%
西 臼 杵 郡	113	502	15,750	1,503	180	18,048
	0.1%	7.0%	33.1%	31.0%	4.3%	4.4%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	948	2,121	16,487	2,180	390	22,126
	0.3%	29.7%	34.5%	44.9%	9.3%	5.3%
西都市・児湯郡	8,921	1,136	2,540	639	860	14,096
	2.5%	15.9%	5.3%	13.2%	20.7%	3.4%
宮 崎 市	326,336	865	8,444	50	2,640	338,335
	92.8%	12.1%	17.7%	1.0%	63.5%	81.4%
東 諸 県 郡	5,098	186				5,284
	1.5%	2.6%	-	-	-	1.3%
小林市・えびの市 ・高原町	2,055	357	2,100	478	90	5,080
	0.6%	5.0%	4.4%	9.9%	2.2%	1.2%
都城市・三股町	2,587	626	920			4,133
	0.7%	8.8%	1.9%	-	-	1.0%
日南市・串間市	1,890	889	1,500			4,279
	0.5%	12.4%	3.1%	-	-	1.0%
そ の 他	2,572					2,572
	0.7%	-	-	-	-	0.6%
合 計	351,695	7,143	47,741	4,850	4,160	415,589

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より開始した事業である。

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率 (平成 30 年度)



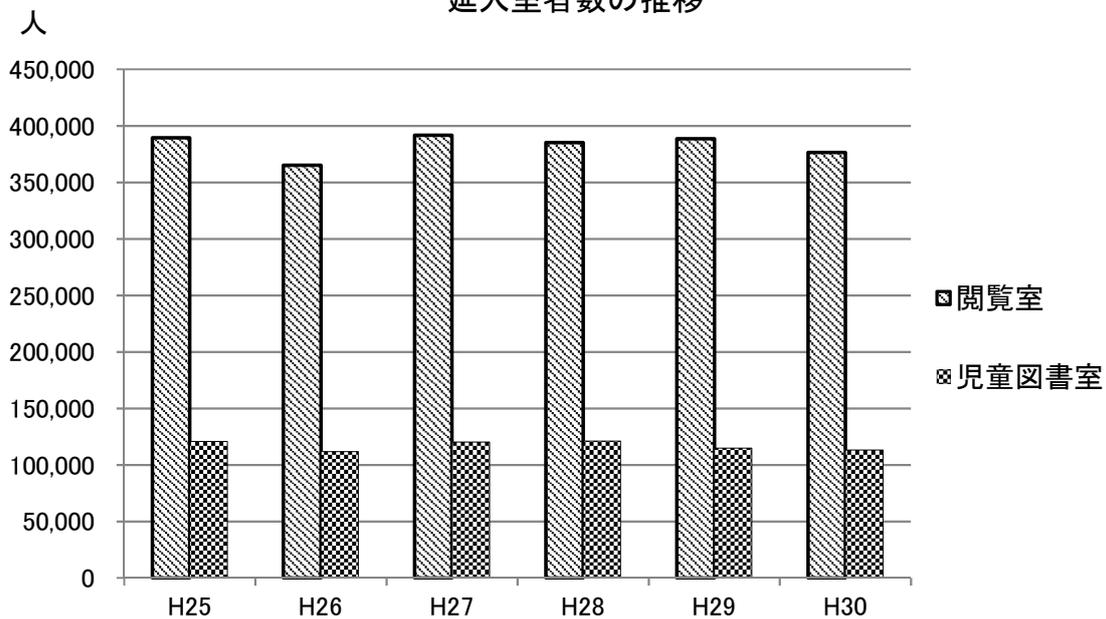
(2) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

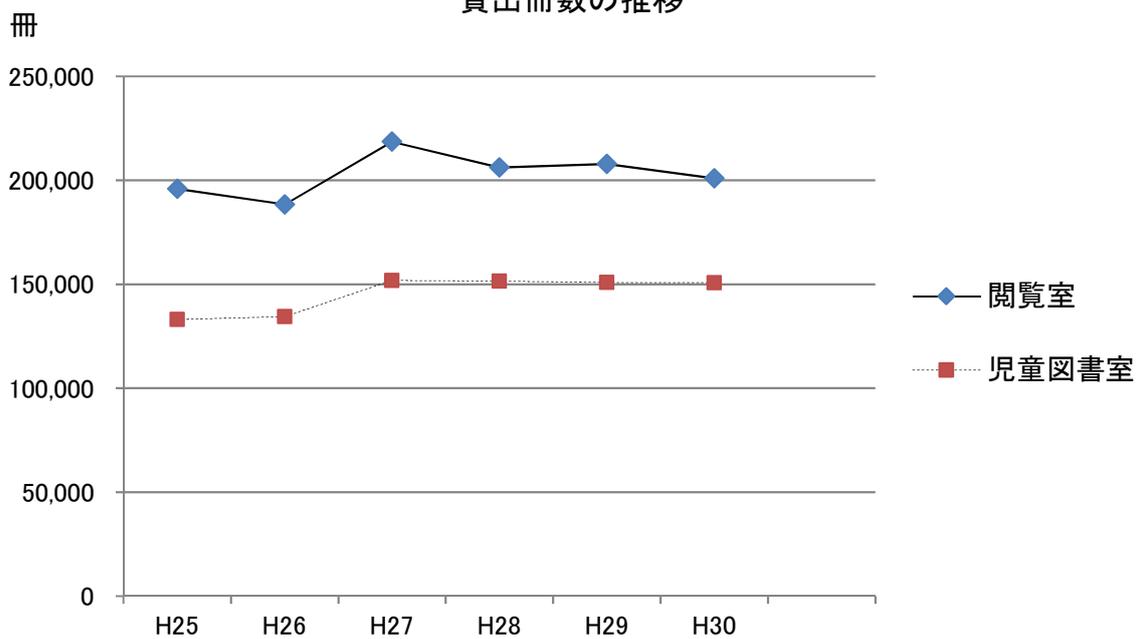
単位 (人・冊)

年度 区分	25		26		27		28		29		30	
	延入室者数	貸出冊数										
閲覧室	389,375	195,794	365,248	188,366	391,591	218,524	385,152	206,135	388,707	207,815	376,527	200,953
児童図書室	120,824	133,053	111,842	134,437	120,206	151,835	120,995	151,518	114,832	150,880	113,307	150,742
計	510,199	328,847	477,090	322,803	511,797	370,359	506,147	357,653	503,539	358,695	489,834	351,695
1日平均	1,701	1,096	1,601	1,083	1,695	1,226	1,687	1,192	1,684	1,200	1,633	1,172

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



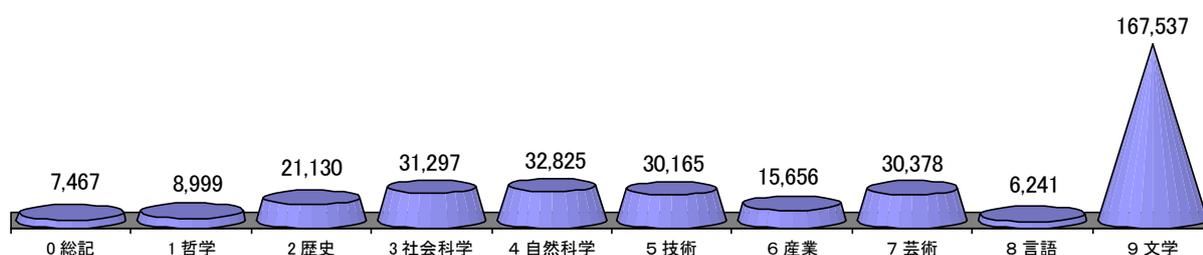
② 入館者数、登録者数、貸出冊数(平成 30. 4. 1～平成 31. 3. 31 開館日数 300 日) 単位(人・冊)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳		757		2.5	131
	7 歳～12 歳		863		2.9	148
	13 歳～15 歳		205		0.7	13
	16 歳～18 歳		263		0.9	13
	19 歳～22 歳		417		1.4	21
	23 歳～		5,195	253,935	17.3	846
計	475,346	7,700	351,695	1,584	25.7	1,172
累計 (昭和 63 年度以降)	17,233,773	279,076	12,099,295			

③ 分類別図書貸出冊数(平成 30. 4. 1～平成 31. 3. 31 開館日数 300 日) 単位(冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	6,021	1,446	7,467	25	6 産業	12,942	2,714	15,656	52
1 哲学	8,127	872	8,999	30	7 芸術	19,848	10,530	30,378	101
2 歴史	17,316	3,814	21,130	70	8 言語	4,672	1,569	6,241	21
3 社会科学	25,867	5,430	31,297	104	9 文学	60,991	106,546	167,537	559
4 自然科学	21,120	11,705	32,825	109					
5 技術	24,049	6,116	30,165	101	合計	200,953	150,742	351,695	1,172

分類別図書貸出冊数の内訳(総数 351,695 冊)



④ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位(本)

年度	25	26	27	28	29	30
利用本数	5,419	5,186	4,586	4,237	4,974	4,809
1日平均	18	17	15	14	17	16

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（平成30年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	4	8	5	4	1	7	9	6	3	3	5	4	59
人数	40	69	39	26	11	69	89	66	21	33	48	29	540

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（平成30年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	7,089	2,247	120	393	114	9,963

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
30	12	653	262	927
29	7	669	215	891
28	19	887	204	1,110

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年わかばコーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,100冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやざきのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）

⑨ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・ 図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後 2 時～午後 2 時 30 分
- ・ ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後 3 時～午後 3 時 30 分
毎週土曜日：午後 3 時～午後 4 時

〈読み聞かせ利用者数〉（平成 30 年度） 単位（人）

曜日	内 訳		計	1 回当たり
火曜日 (40 回実施)	こども	299	581	14.5
	大人	282		
水曜日 (48 回実施)	こども	342	621	13.0
	大人	279		
土曜日 (98 回実施)	こども	826	1,470	15.0
	大人	644		
計 (186 回実施)	こども	1,467	2,672	14.4
	大人	1,205		

※土曜日は 1 日に 2 回実施する。

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約 400 冊）

また、毎月第 4 火曜日に読み聞かせに参加する保護者を対象とした、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のための、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・ 子育て相談おはなし会相談件数（平成 30 年度） 延べ 122 件

⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナー（図書約 800 冊）を設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示しているほか、毎月第一を除く木曜日と第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

また、宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で経営支援、創業支援等の分野に係る連携を円滑にし、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的に平成 22 年 4 月 1 日に覚書を締結しており、四者連携してのセミナー、経営・金融相談会等を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

・ビジネス相談会相談受付件数（平成30年度）

延べ 64件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期 日	セミナー等の名称	参加者数（人）
1	11月14日（水）	中小企業経営セミナー	14
2	11月17日（土）	経営管理者養成ゼミ	15
3	12月 1日（土）	経営管理者養成ゼミ	16
4	12月15日（土）	経営管理者養成ゼミ	17
5	1月19日（土）	経営管理者養成ゼミ	16
6	2月 2日（土）	経営管理者養成ゼミ	22
合 計			100

⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナー（図書約800冊）を設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っているほか、第5週を除く毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から2階ロビーに対がん情報コーナーを設置してがん対策に関するパネルの展示や関連パンフレット・チラシの配架を行っており、平成30年度には「がん相談支援に関する講演会・相談会」を開催した。

〈「まちの保健室」の実績〉

・「まちの保健室」相談者数（平成30年度）

延べ 566人

〈「がん相談支援に関する講演会・相談会」の実績〉

・平成30年7月1日（日）開催

参加者 33人

⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席20席の計28席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（平成30年度）

・インターネット専用パソコン

延べ 4,256人

・持込用パソコン席

延べ 5,668人

・データベース席

延べ 533人

※平成26年4月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
件 数	6,847	6,167	6,310	5,505	5,658	4,802
枚 数	49,342	51,379	47,907	42,846	39,342	32,597

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

ア 法律相談

- 法律相談会（毎月第2金曜日）

※8月を除く、年11回実施。

<月別相談件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	4	3	2	3	—	4	4	2	4	1	1	2	30

- 県下一斉司法書士無料法律相談会

平成30年 2月 3日(日) 相談者数145名

イ 不動産相談

- 不動産無料相談会

平成30年 4月14日(土) 相談者数 33名

平成30年10月13日(土) 相談者数 45名

ウ ランタンのつどい

- 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	4	9	7	4	7	4	5	4	2	6	6	5	63

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方々等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 利用登録者

平成30年度（新規） 17名

平成30年度末計 52名

- 延べ利用数

平成30年度 757点

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

平成28年度から、移動図書館車「やまびこ」（平成27年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM書庫で貸出を行う支援を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

平成30年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
日之影町	日之影町民センター図書室	450		美郷町立北郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,200
諸塚村	諸塚村中央公民館	900	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
椎葉村	椎葉村民図書室	1,500	西米良村	西米良村立図書室	300
				合 計	11,550

〈学校支援事業〉

平成30年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	配本冊数	市町村名	学 校 名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎葉村	松尾小学校	930
	三ヶ所小学校	1,500		椎葉中学校	630
	坂本小学校	1,200	諸塚村	諸塚小学校	750
	上組小学校	1,500		荒谷小学校	240
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		七ッ山小学校	750
高千穂町	押方小学校	300	西米良村	西米良中学校	450
	田原小学校	750	宮崎市	明星視覚支援学校	320
	岩戸小学校	1,500		赤江まつばら支援学校	600
	上野小中学校	900		みなみのかぜ支援学校	900
	田原中学校	900		清武せいりゅう支援学校	1,200
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		宮崎海洋高等学校	400
日之影町	日之影中学校	900	都城市	都城さくら聴覚支援学校	900
美郷町	美郷北学園	900	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
椎葉村	椎葉小学校	630	日向市	日向ひまわり支援学校	1,500
	尾向小学校	900	新富町	児湯るびなす支援学校	900
	不土野小学校	600	小林市	都城きりしま支援学校小林校	600
	小崎小学校	600		合 計	29,550
	大河内小学校	750			

イ BM書庫での貸出による支援

BM書庫資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

平成30年度 貸出冊数

単位 (冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
美郷町	美郷町立西郷図書館	682	宮崎市	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	187
都農町	都農町民図書館	690	三股町	三股町立図書館	20
門川町	門川町立図書館	25	合 計		1,604

〈児童教育等支援施設事業〉

令和元年度 児童教育施設等一覧 (平成31年4月1日現在)

No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	社会福祉法人 南方保育園	教育施設	平12.4	10	宮崎市	西池児童クラブ	教育施設	平12.6
2	宮崎市	宮崎県中央福祉 子どもセンター	教育施設	平21.6	11	宮崎市	東大宮児童クラブ	教育施設	平12.10
3	宮崎市	宮崎大学教育文化学 部附属幼稚園	教育施設	平25.10	12	宮崎市	池内児童クラブ	教育施設	平29.5
4	宮崎市	憶北児童クラブ	教育施設	平24.4	13	宮崎市	倉岡児童クラブ	教育施設	平29.6
5	宮崎市	瓜生野児童クラブ	教育施設	平20.7	14	宮崎市	住吉第二児童クラブ	教育施設	平29.6
6	宮崎市	大宮児童クラブ	教育施設	平22.9	15	宮崎市	生目児童クラブ	教育施設	平29.12
7	宮崎市	小松台児童クラブ	教育施設	平24.10	16	宮崎市	西池南児童クラブ	教育施設	平30.6
8	宮崎市	住吉児童クラブ	教育施設	平25.7	17	西都市	都於郡児童クラブ	教育施設	平30.9
9	宮崎市	宮崎児童クラブ	教育施設	平26.3					

② セット文庫

平成28年度より、セット文庫事業を改定し、やまびこ文庫登録図書館・室、やまびこ文庫登録学校、町村立学校への貸出を開始した。

学 校 名	貸出冊数	学 校 名	貸出冊数
高千穂町立押方小学校	241	県立富島高等学校	98
都農町都農小学校	125	県立佐土原高等学校	50
高原町立後川内小学校	115	合 計	976
門川町立草川小学校	70		
高鍋町立高鍋東中学校	65		
高鍋町立高鍋西中学校	28		
川南町立唐瀬原中学校	184		

※やまびこ文庫登録図書館・室への貸出数は3,874冊

③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈平成30年度貸出状況〉

町 村 名	図書館・図書室名	回 数	セット数（貸出冊数）
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3（90）
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3（90）
高 原 町	高原町中央公民館図書室	3	3（90）
川 南 町	川南町立図書館	3	3（90）
高 鍋 町	町立高鍋図書館	3	3（90）
都 農 町	都農町民図書館	3	3（90）
美 郷 町	美郷町立西郷図書館	3	3（90）
	美郷町立北郷図書館	3	3（90）
	美郷町立南郷図書館	3	3（90）
木 城 町	木城町総合交流センターリバリス図書室	3	3（90）
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	3	3（90）
門 川 町	門川町立図書館	1	1（30）
	合 計	34回	34セット（1020冊）

④ 団体文庫

令和元年度 団体文庫登録団体一覧（平成31年4月1日現在）

No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	あじさい読書会	研究団体 【小説】 読み聞かせ ボランティア	昭54. 7	14	宮崎市	びろうじゅ	研究団体 【短歌】	平元. 11
2	宮崎市	いずみ一座	読み聞かせ ボランティア	平25. 8	15	宮崎市	MAR I	読み聞かせ ボランティア	平26. 10
3	宮崎市	えほんといっしょ	読み聞かせ ボランティア	平15. 1	16	宮崎市	みなみかぜ	読み聞かせ ボランティア	平12. 4
4	宮崎市	大宮小読み聞かせサークルひまわり	読み聞かせ ボランティア	平23. 4	17	宮崎市	宮崎至慶幼稚園絵本の会	読み聞かせ ボランティア	平17. 10
5	高鍋町	おはなしころりん	読み聞かせ ボランティア	平15. 7	18	宮崎市	ラボ・ミヤザキ	研究団体 【絵本】 読み聞かせ ボランティア 研修団体	平26. 4
6	宮崎市	おはなし つたや	読み聞かせ ボランティア	平26. 4	19	宮崎市	宮崎県現代川柳協会	研究団体 【川柳】	平28. 4
7	宮崎市	くれよん	読み聞かせ ボランティア	平19. 6	20	宮崎市	宮崎レコード音楽愛好会	研究団体 【レコード】	平29. 6
8	宮崎市	シルバーケア短歌会「空の会」	研究団体 【短歌】	平26. 1	21	宮崎市	みつばちキッズ浮城	読み聞かせ ボランティア	平29. 7
9	宮崎市	サンシャインフレンズ	読み聞かせ ボランティア	平 4. 11	22	宮崎市	あおぞら幼稚園読み聞かせサークルぶんぶん	読み聞かせ ボランティア	平29. 10
10	宮崎市	ツバナ文庫	私設文庫 読み聞かせ ボランティア	平 2. 4	23	宮崎市	こどもプラス宮崎	読み聞かせ ボランティア	平30. 4
11	宮崎市	西池小学校支援ボランティア「お話の部屋」	読み聞かせ ボランティア	平13. 10	24	宮崎市	一般社団法人 つなぐ	読み聞かせ ボランティア	平30. 5
12	宮崎市	(公財)野村生涯教育センター	研修団体	平10. 8	25	宮崎市	“ひむか”なライブラリアンシップ	研究団体 研修団体	平30. 5
13	宮崎市	ピーターラビットおはなしクラブ	読み聞かせ ボランティア	平18. 11	26	宮崎市	牧水研究会	研究団体 【短歌】	平30. 7

(4) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位(冊)

	施設名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	75	64	57	55	88
3	都城市立図書館	104	111	134	77	215
4	都城市立高城図書館	18	10	18	21	21
5	延岡市立図書館	344	297	360	350	431
6	延岡市立図書館北方分館	70	58	52	45	27
7	延岡市立図書館北浦分館					
8	延岡市立図書館北川分館			17	14	3
9	日南市立図書館	603	518	704	682	799
10	小林市立図書館	160	160	176	182	143
11	日向市立図書館	294	454	425	348	356
12	串間市立図書館	114	137	119	92	90
13	西都市立図書館	73	48	250	158	252
14	えびの市民図書館	59	70	61	43	70
15	三股町立図書館	289	204	231	236	171
16	国富町立図書館	7		6	25	44
17	綾てるは図書館	154	111	144	159	142
18	町立高鍋図書館	208	227	168	176	192
19	新富町図書館	197	194	101	86	101
20	川南町立図書館	89	110	113	114	104
21	都農町民図書館	169	164	325	229	257
22	門川町立図書館	64	51	88	87	73
23	美郷町立西郷図書館	234	298	233	248	323
24	美郷町立北郷図書館	64	102	154	153	264
25	美郷町立南郷図書館	111	120	82	109	99
26	高千穂町立図書館	204	181	259	200	224
27	宮崎市清武文化会館図書室	61	69			
28	宮崎市田野公民館図書室	7	5	16	46	33
29	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	6	70	43	89	82
30	都城市山之口地区公民館図書室					
31	都城市山田総合センター図書室			16	94	33
32	都城市高崎たちばな学び館図書室	40	13	14	21	5
33	高原町中央公民館図書室	112	179	160	84	144
34	西米良村立図書室	12	27	12	16	6
35	木城町総合交流センターリパリス図書室	156	212	181	339	224
36	諸塚村中央公民館図書室	3	12	44	11	12
37	椎葉村民図書室			18	21	
38	日の影町民センター図書室			1		44
39	五ヶ瀬町教育委員会図書室	6	18	83	118	51
40	県立五ヶ瀬中等教育学校			35	306	183
41	県立日向高等学校				446	424
42	県立富島高等学校				296	570
43	県立宮崎南高等学校				157	310
44	県立佐土原高等学校				310	246
45	県立宮崎商業高等学校				71	98
46	県立日南振徳高等学校				37	
47	県立都城農業高等学校					181
48	県立宮崎北高等学校					1
49	宮崎大学本館					7
	合計	4,107	4,294	4,900	6,351	7,143

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館(本館)にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館(本館)にて一括計上。

(5) 訪問支援

平成28年度から、市町村図書館ややまびこ文庫登録県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。

〈平成30年度定期訪問状況〉

全市町村立図書館・室を対象とし、定期訪問を実施した。訪問の回数は、やまびこ文庫登録図書館・室（10館・室）が各3回、やまびこ文庫未登録図書館・室（35館・室）が各1回の合計65回であった。

〈平成30年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
5月21日	西都市立図書館	図書の装備、修理について
5月23日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
6月29日	高千穂町立図書館	西臼杵郡学校図書部会での助言等
8月21日	五ヶ瀬町教育委員会図書室	図書の修理
9月12日	宮崎市立図書館（教育委員会）	著作権について
9月12日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
10月22日	高千穂町立図書館	イベント支援（学校における読書活動）
10月24日	高原町中央公民館図書室	学校司書研修支援
11月20日	都農町民図書館	読み聞かせの基礎
12月20日	諸塚村中央区民館図書室	子ども読書活動推進計画策定について
1月16日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
2月18日	日向市立図書館	子どもの読書活動～アニメーション～

(6) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4月	0	0	0	4	4	1600
5月	0	0	0	0	0	0
6月	3	3	144	2	2	54
7月	0	0	0	7	7	259
8月	4	4	240	10	10	748
9月	5	15	75	3	3	110
10月	2	1	120	10	10	780
11月	0	0	0	3	3	33
12月	0	0	0	9	9	500
1月	0	0	0	4	5	320
2月	3	3	180	0	0	0
3月	0	0	0	8	8	468
合計	17	26	759	60	61	4,872

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月3日(木)	「うっかりペネロペ」「くまのがっこうジャッキー」	—
2	6月25日(日)	「ビッケと神々の秘宝」	40
3	8月9日(木)	「ぼくは王さま しゃぼんだまとにちようび」より	39
4	12月23日(日)	「神話の国の子どもたち」	7
5	2月10日(日)	「ミッフィーのおじいさまとおばあさま」	33
合 計			119

※第1回はフリースペース開催のため、カウントせず。

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月3日(木)	「みつばちの大地」	20
2	6月24日(日)	「島だって夢を見る」	25
3	7月24日(火)	「夏の庭」	36
4	10月23日(火)	「NORIN TEN／稲塚権次郎物語」	21
5	12月21日(金)	「サンタクロースになった少年」	23
6	1月22日(火)	「旅立ちの島唄～15の春～」	25
合 計			150

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	5月3日(水)	新緑のレコードコンサート 「図書館コレクション 名曲の数々vol.10」	76
2	9月2日(日)	レコードコンサート 「図書館コレクション 名曲の数々vol.11」	65
3	11月4日(日)	G音楽たいによる演奏 職員による読み聞かせ 語り部養成講座受講生による民話の語り	—
4	12月16日(日)	冬のレコードコンサート 「図書館コレクション名曲の数々vol.12」	71
合 計			212

※第3回はフリースペース開催のため、カウントせず。

(7) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

節	期 日	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
1	4月3日(火)～ 4月15日(日)	家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展	
		警務課	犯罪被害者支援に関する企画展	
2	4月17日(火)～ 4月22日(日)	スポーツ振興課	スポーツで人が輝く元気な宮崎に！！ 児童生徒が自分で作る「みやざき弁当の日」	
		障がい福祉課	思春期こころの健康	
3	4月24日(火)～ 5月13日(日)	県立図書館	こどもの読書週間企画展	◎
4	5月15日(火)～ 5月27日(日)	生活・協働・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展	
		農政企画課	NOSAI「宮崎の農村」写真展	
5	5月29日(火)～ 6月10日(日)	砂防課	平成30年度「土砂災害防止月間」パネル展	
		畜産振興課	「牛乳の日」企画展	
6	6月12日(火)～ 6月24日(日)	生活・協働・男女参画課	男女共同参画パネル展	
		環境森林課	みどりの特別企画展	
7	6月26日(火)～ 7月8日(月)	総合政策課	「ディスカバー宮崎」企画展	
8	7月10日(水)～ 7月22日(日)	河川課	次代へつなげよう！魅力あるみやざきの川と海	
		生活・協働・男女参画課	「県民との協働」パネル展	
9	7月24日(火)～ 8月5日(日)	健康増進課	サダコと折り鶴 ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展	
		森林経営課	森林・林業にふれてみませんか！	
10	8月7日(火)～ 8月19日(日)	農業連携推進課	農畜水産業の技術最前線	
11	8月21日(火)～ 9月2日(日)	環境森林課	「森林づくり推進期間」「エコロジーマンス」共同展	
		環境管理課	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	
12	9月4日(火)～ 9月17日(日)	福祉保健課	自殺予防週間「自殺予防啓発パネル展」	
		総務課	来て見て知って 宮崎県企業局のおしごと	
13	9月19日(火)～ 9月30日(月)	みやざき文化振興課	宮崎の神話・神楽パネル展	
14	10月2日(水)～ 10月14日(日)	県立図書館	県立図書館新館30年のあゆみ	◎
15	10月16日(火)～ 10月21日(日)	都市計画課	美しい宮崎づくりパネル展	
		企業振興課	工業技術センター・食品開発センター創立20周年	
16	10月23日(火)～ 11月11日(日)	県立図書館	秋の読書週間企画展	◎
17	11月13日(火)～ 11月18日(日)	NHK宮崎放送局	NHK大河ドラマ「西郷どん」全国巡回展	○

節	期 日	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
18	11月20日(火)～ 12月2日(日)	福祉保健課	みんなで知ろう！ 福祉のしごと	
		中山間・地域政策課	霧島ジオパーク展	
			祖母・傾・大崩ユネスコエコパークパネル展	
19	12月4日(火)～ 12月16日(日)	人権同和対策課	人権に関する作品展	
		長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展	
20	12月18日(火)～ 12月24日(月)	みやざき文化振興課	みやざきの「ひと」	
		環境森林課	地球温暖化防止月間展	
21	12月26日(水)～ 1月14日(月)	環境森林課	省エネルギー月間展	
22	1月16日(火)～ 1月27日(月)	障がい福祉課	人にやさしい福祉のまちづくり展	
		スポーツ振興課	第73回国民体育大会	
23	1月29日(火)～ 2月11日(月)	環境森林課	省エネルギー月間展	
		税務課	平成30年度 「税に関する絵はがきコンクール」 作品展示	
24	2月13日(火)～ 3月3日(日)	サイバー犯罪対策課	サイバー犯罪被害防止パネル展	
25	3月5日(火)～ 3月17日(日)	危機管理課	地震イツモパネル展	
合計				42事業

② 県立図書館ロビー展（主催事業）

県立図書館の持つ資料や活動について情報発信することを目的に実施した。

節	期 日	内 容
1	4月1日(日)～4月15日(日)	江戸に学ぶ
2	4月17日(火)～5月13日(日)	「宮日こども新聞」創刊300号記念展示
3	5月15日(火)～6月3日(日)	霧島連山噴火に伴う地域応援展示
4	6月6日(水)～6月17日(日)	山伏の歩いた日向路
5	6月19日(火)～7月1日(日)	「がんに関する相談支援」について
6	7月3日(火)～7月16日(月)	宮崎県立図書館新館建設30周年の歩み
7	7月18日(水)～8月5日(日)	マルチメディアデイジー図書に関する展示会
8	8月7日(火)～8月19日(日)	日本の歴史拝見！
9	8月7日(火)～8月19日(日)	若山牧水賞
10	8月21日(火)～9月9日(日)	宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
11	9月11日(火)～10月6日(土)	宮崎の神話・神楽パネル展
12	10月7日(日)～10月21日(日)	県立図書館のあゆみ
13	10月23日(火)～11月11日(日)	県立図書館の各種サービス
14	11月13日(火)～12月9日(日)	若山牧水賞
15	12月11日(火)～12月24日(月・祝)	ビブリオバトル・ 記紀編さん1300年記念事業・ 語り部のつどいに関する展示
16	12月26日(水)～1月14日(月・祝)	ビブリオバトル及び県立図書館の取組に関する展示
17	1月16日(水)～2月3日(日)	ガンに関する情報展
18	2月5日(火)～2月17日(日)、 2月26日(火)～3月3日(日)	清武城・宮崎城に関する展示
19	3月5日(火)～3月17日(日)	宮崎県内の城に関する展示
合計		19事業

③ 県内公共図書館における巡回展

	場 所	時 期	機 関	内 容
1	宮崎市立佐土原図書館	6～7月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		10～11月	危機管理課	地震イツモパネル展
		11～12月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
2	都城市立図書館	7月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
		9～10月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
3	延岡市立図書館	9～10月	砂防課	土砂災害防止パネル展
		11～12月	警察本部警務課	犯罪被害者支援に関する企画展
4	日南市立 まなびピア図書館	5月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		9～10月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
5	日南市立北郷図書館	10月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展
6	串間市立図書館	7月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		8～9月	危機管理課	地震イツモパネル展
		11月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
7	西都市立図書館	5月	家畜防疫対策課	「口蹄疫を忘れない」パネル展
		8月	河川課	河川愛護ポスター展
		1月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
8	えびの市民図書館	5～6月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
		1月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
9	三股町立図書館	7月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展
		9月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
		10月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
		1月	危機管理課	地震イツモパネル展
10	綾てるは図書館	5月	危機管理課	地震イツモパネル展
		8～9月	家畜防疫対策課	「口蹄疫を忘れない」パネル展
		11月	生活・協同・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展
11	新富町図書館	5月	警察本部警務課	犯罪被害者支援に関する企画展
		8～9月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
		9～10月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		2月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
12	川南町立図書館	6～7月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
		10月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		3月	生活・協同・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展
13	都農町民図書館	7月	危機管理課	地震イツモパネル展
		8月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		9月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展
		12月	生活・協同・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展
14	美郷町立西郷図書館	1～2月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
15	宮崎市きよたけ児童 文化センター図書室	4月	危機管理課	地震イツモパネル展
		7～8月	警察本部警務課	犯罪被害者支援に関する企画展
		8月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展
		10月	森林経営課	林業技術センター試験研究内容等パネル展示
		12月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		2月	農政企画課	「宮崎の農村」写真展
				合計 15館(室)、43事業

(8) 文化活動事業

① 第60回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を実施した。

期 間 平成30年4月17日(火)～5月13日(日)

内 容

ア ワークショップ・演劇「ことばの世界を楽しもう～どんぐりと山猫～」

講 師：劇団「こふく劇場」代表 永山 智行氏 ほか

イ ワークショップ「へんしんカードをつくってみよう」

講 師：児童図書室担当職員

内 容：紙を使った六角変わり絵と牛乳パックを使った人形の簡単な工作

ウ 企画展示1「ことばの世界」

内 容：ことばそのものの面白さが感じられるような本の紹介、展示

企画展示2「絵本どうぶつえん」

内 容：動物が主人公の絵本の紹介、展示

企画展示3「こどもしつしょうかいコーナー」

内 容：えほん年間貸出数ベスト10、ボランティア紹介、大活字本等の展示など

エ おはなし会

ボランティア団体、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせ

オ 英語で楽しむおはなし会

宮崎県国際交流員による英語の絵本の読み聞かせ、英語の童謡による指あそび

カ こども映写会（アニメ映画「うっかりペネロペ」、「くまのがっこうジャッキー」）

② 第72回「秋の読書週間」関連事業 「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、昭和22年に（社）読書推進運動協議会によって第1回「読書週間」が開催された。以後、毎年「文化の日」を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間が「秋の読書週間」となり、日本の国民的行事として定着している。

県立図書館においても、イベントを通じて読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図ることを目的に、関連事業として「みどりの図書館フェスタ」を開催している。平成30年度は当館建設30周年にあたること、郷土の偉人「若山牧水」が没後90年の節目にあたることを踏まえ、例年実施してきた「みどりの図書館フェスタ」を「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」と題し、記念行事を兼ねて実施した。

開催期日 平成30年10月 6日(土)

プログラム

ア 記念式典

○ 報告 新館30周年のあゆみ

- 感謝状贈呈
竹中 敬一 様
宮崎この人企画 様
- 記念講演「牧水没後90年に当たって」 伊藤一彦名誉館長
- 語り部による民話 竹原由紀子氏
- イ 「本で世代をつなぐ」～私のすすめるこの1冊～
第1部・・・入賞者による個人発表&大口玲子氏とのトークセッション
第2部・・・発表者全員と大口氏によるトークセッション
- ウ 読み聞かせ（読書団体・当館職員）
- エ マイラインパネル展
- オ オリジナルしおり&読書手帳づくり
- カ 図書館見学ツアー
- キ 若山牧水展（特別展示室）
- ク 無料相談会（がんに関する相談会 まちの保健室）
- ケ リサイクル工作づくり
- コ 調べ学習の仕方を学ぼう 等

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。

平成30年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

<特別展>

「日本の歴史拝見Ⅱ」

期 間	平成30年7月21日(土)～8月26日(日)	開催日数：32日
内 容	「明治150年」事業にあわせて幕末から明治にかけての興味深い事件についてパネルで紹介した。また、島津斉彬や佐野常民、高木兼寛の直筆書簡も展示した。	

「本に生命を吹き込む ～生頼範義の足跡～」

期 間	平成30年10月20日(土)～11月25日(日)	開催日数：31日
内 容	本県で創作活動を行った世界的なイラストレーター生頼範義が装丁を手がけた書籍とその原画の展示やパネルで生頼範義の業績を紹介した。また、新たな試みとして会場内に撮影コーナーを設けた。	

<企画展>

「没後90年 若山牧水」

期 間	平成30年4月28日(金)～6月3日(日)	開催日数：31日
内 容	平成30年度が牧水の没後90年にあたることから、牧水の生涯と作品、あまり知られていないジャーナリストとしての一面をパネルで紹介した。また、妻喜志子との連名で送られた絵葉書なども展示した。	

「小林邦雄コレクション 若山牧水遺墨展」

期 間 平成30年12月11日(火)～1月20日(日) 開催日数：30日
 内 容 平成30年11月に故小林邦雄氏から若山牧水遺墨を中心としたコレクションが寄贈された。その中には、牧水の未発表作品の直筆掛け軸も含まれていた。これらの作品の展示と故小林邦雄氏の功績をパネルで紹介した。

〈巡回展〉

会場・期間 宮崎大学附属図書館・・・5/ 8(火)～5/31(木)
 日向市立図書館・・・6/12(火)～6/30(土)
 宮崎日本大学高校図書室・・・7/ 3(火)～7/27(金)
 えびの市歴史民俗資料館・・・9/11(火)～9/30(日)
 日南市小村記念館・・・11/30(金)～12/9(日)
 宮崎市佐土原図書館・・・1/23(水)～2/18(月)
 内 容 平成29年度に実施した特別展「江戸に学ぶ」を再構成し、県6会場で各施設との共催で実施した。

〈共催展〉

「遺跡発掘速報展2018」

期 間 平成30年9月1日(土)～9月30日(日)
 内 容 宮崎県埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を実施し、近年報告書を刊行または整理作業を行った遺跡に関する展示を実施した。
 9月2日(日)には、「遺跡発掘速報会 一発掘調査最前線2018」と題した調査結果の速報会も開催した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の視聴覚室において次のとおり実施した。

受講者計79名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	6月30日(土)	甦れ！古代ロマン復元住居 再生事業	西都原考古博物館 田中 敏雄 氏	18名
2	7月21日(土)	和合の里 土呂久	アジア砒素ネットワーク理事 川原 一之 氏	44名
3	8月25日(土)	日本一の宮崎牛を目指して	宮崎県立農業大学 佐藤 登士夫 氏	17名

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史についても理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する近世史料をテキストとして利用した年5回にわたる古文書解説を実施した。

受講者計 226名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	7月14日(土)	講座① 「古文書に親しむ」	郷土情報担当 崎田 一郎	30名
3	8月4日(土)	講座② 「佐土原藩嶋津家日記を読む」 (全4回)	筆耕解説員 中元 暢一 氏 柘植 幹雄 氏	57名
4	9月8日(土)			57名
5	10月20日(土)			40名
6	11月10日(土)			42名

⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業

宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化に関心を持ってもらい、県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進し、記紀編さん1300年の展開を図った。

〈講演会〉

記紀、宮崎の神話・伝承等に関する著名な研究者を招聘し講演会を開催した。

期 日	演 題	講 師	会 場	参加者
5月12日(土)	古風土記にみる日向神話	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	県立図書館	30名

〈語り部養成講座〉

読書活動ボランティアや神話・民話に興味関心を持つ人等を対象に、神話・伝承や民話の知識と語りの技法を学ぶための講座を開催した。

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	6月17日(日)	神話についての講義	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	19
		講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その1」	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会	13
2	7月28日(土)	講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その2」	岡田 勝運 氏 郷土先覚者顕彰ガイド 宇都 裕子 氏	12
3	8月18日(土)	民話についての講義	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	14
		講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その1」	カタリベアサベ	14
4	9月15日(土)	講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その2」	浅部 和子 氏	11

〈みやぎき語り部のつどい〉

県内の語り部の資質向上や県民に対して宮崎の言語文化を継承しようとする気運醸成を図るための発表会等を実施した。

日 程	内 容	
1月13日(日) 午前の部	全体会 講演会	神話・民話黑板アート表彰式 講師 皇學館大学 教授 橋本 雅之 氏 演題 『日向から樞原へ-神武天皇即位の道-』
午後の部	語り	語り部養成講座受講生7名による神話・民話の語り 【助言者】宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏

〈語り部派遣〉

語り部養成講座受講者を語り部として派遣している。平成30年度は、県立図書館行事に参加をした。

期 日	内 容	参加者
10月21日(日)	むかしばなしおはなし会	1名
11月4日(日)	緑陰コンサート、むかしばなしおはなし会	4名
12月23日(日)	むかしばなしおはなし会	3名
3月17日(日)	語り×16mmフィルム	5名

⑥ 「本で世代をつなぐ」読書活動推進事業

読書離れの傾向が見られる中・高生を中心とした各世代を対象に、本の魅力に触れ生きる力や創造力を育む機会を提供し、世代をつなぐ読書活動を推進していくため、中学生・高校生・一般の方を対象に、中・高生に伝えたい「おすすめの1冊」（400字作文）を募集した。1,461作品の応募の中から選考の上入選者15名を決定した。15名のうち6名について、10月6日（土）に「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」において下記のプログラムでトークセッションを実施した。後日、入選者15名の応募作品を記載した小冊子を1,000部発行し県内のすべての中学校・高等学校等に配付した。

〈作品募集期間〉

平成30年4月17日(火)から6月24日(日)（当日消印有効）まで

〈応募状況〉

	中学生の部	高校生の部	一般の部	合 計
応募者数	475名	955名	31名	1,461名

〈トークセッション〉

期日	会 場	内 容	参加者
10月6日(土)	研修 ホール	第1部 ・各世代代表者による個人発表&大口玲子氏との トークセッション 第2部 ・発表者全員と大口氏によるトークセッション	100名

(9) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタルアーカイブの推進を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

平成30年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記(二十)』を刊行した。(120部印刷)

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

平成30年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第45輯』を刊行した。(120部印刷)

③ デジタルアーカイブ事業

993点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

平成30年度は「佐土原藩嶋津家文庫」と「佐土原藩嶋津家江戸日記」の電子化事業を実施している。

(10) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・ 総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・ 県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む22館が参加）
- ・ パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・ 電子メールによるレファレンス
- ・ インターネットを經由した資料貸出予約申し込み

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成28年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年 度	24	25	26※	27	28	29	30
件 数	102,916	135,346	119,867	148,444	157,479	637,440	1,087,461

※平成26年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成27年2月中旬から平成27年3月中旬の間は件数に反映されていない。

〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年 度	28	29	30
件 数	63,429	56,632	52,138

(11) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には、幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館するのに加え、県総合文化公園一帯に所在する県の文化施設を巡る4館見学ツアー（県立美術館、県立芸術劇場、県総合博物館、県立図書館）も実施している。（平成24年度から「3館見学ツアー」として事業開始。その後平成28年度から県立芸術劇場も加わり「4館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習や司書実習、インターンシップなども積極的に受け入れている。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延べ人数	備 考
幼稚園・保育所等	9	311	
小 学 校	17	726	
中 学 校	9	342	職場体験学習 5校 13名
高 等 学 校	0	0	
特別支援学校	3	12	職場体験学習 1校 1名
大 学	1	1	司書実習 1校 1名
そ の 他	6	134	老人会 12名
合 計	45	1,526	

(12) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書が寄贈申出があり、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けた。

なお、最初の寄贈から5年を迎えたことから、院長と御遺族への感謝の意を込めて平成29年12月12日(火)に「かば先生文庫寄贈5周年記念おはなし会」を実施した。

〈利用開始までの経緯〉

- 平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- 平成25年2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- 平成25年4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催(利用開始) 1階ロビー

〈かば先生文庫整備数〉(平成31年3月31日現在)

1,621冊 内訳 児童図書室 632冊
B M 書 庫 989冊

(13) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催または県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「神話のふるさと県民大学」

主催：宮崎県立看護大学、宮崎大学、宮崎産業経営大学法学部

記紀、神話等をテーマとした、県内外の講師による対談、講演等。県内2大学が主催する「リレー講座」全11回のうち、宮崎県立看護大学主催分4回を当館で開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	演 題	講 師	参加者
9月1日 (土)	鼎談 「女神から見る神話の世界」	平藤 喜久子 氏 (國學院大學教授) 上大岡 トメ 氏 (イラストレーター) 加藤 沙知 氏 (MRT 宮崎放送アナウンサー)	131名
9月8日 (土)	鼎談 「出雲と日向～神話による縁結び～」	山村 桃子 氏 (島根県立大学講師) 錦田 剛志 氏 (万九千神社宮司) 川島 恵 氏 (MRT 宮崎放送アナウンサー)	116名
9月22日 (土)	鼎談 「日中の神話と歌垣」	上野 誠 氏 (奈良大学教授) 金縄 初美 氏 (西南学院大学教授) 大館 真晴 氏 (宮崎県立看護大学教授)	124名
9月29日 (土)	鼎談 「旅の歌～古代から現代へ」	小島 ゆかり 氏 (歌人) 小島 なお 氏 (歌人) 伊藤 一彦 氏 (歌人・当館名誉館長)	114名

※参加者数は宮崎県記紀編さん記念事業推進室調べ。

② 「わくわく文芸講座」

主催：県宮崎県教職員互助会

教職員等だけでなく、広く一般県民も対象とした文化芸術振興事業等の公益事業の一環として開催した。

(会場：研修ホール等)

期 日	区 分	内 容	講 師	参加者
7月8日 (日)	全体会 【講演】	演題 「俳句からみた短歌」	宇多 貴代子 氏	133名
	第1分科会 【小説】	○テーマ 「小説の書き出しを考えよう ～名文紹介と実作」	曾原 紀子 氏	15名
	第2分科会 【短歌】	○テーマ 「読んで味わう現代短歌 ～学校のうた、先生のうた」	大口 玲子 氏	36名
	第3分科会 【俳句】	○テーマ 「宮崎の俳枕について」	布施 伊夜子 氏	71名

※参加者数は宮崎県教職員互助会調べ。

③ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

自然理解及び自然環境保全の啓発活動の一環として、定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月26日(土) (第33回)	「私の教育信条～心やさしき名もない英雄を育てたい～」	飛田 洋 氏 (前県教育長、県立美術館長)	22名
2	7月28日(土) (第34回)	「本を通じて人とつながる～まちライブラリーの魅力」	青野 雄介 氏 (まちライブラリー@TENAMビル) 並河 真次 氏 (まちライブラリー@千歳タウンプラザ)	25名
3	9月16日(日) (第35回)	「祖母・傾・大崩ユネスコパーク登録の概要と今後の課題について」	岩本 俊孝 氏 (宮崎大学名誉教授)	22名
4	11月24日(土) (第36回)	「45年に亘る途上国援助活動の軌跡」	江藤 誠一 氏 (元 JICA 専門家/国連専門委員)	31名
5	1月12日(土) (第37回)	「フィリピン・ネグロス島南東部沿岸の海洋生態系から見た地球環境」	ジン・タナンゴナン 氏 (近畿大学農学部講師)	36名
6	3月16日(土) (第38回)	「教育勅語・御真影をめぐる不敬事件と学校儀式」	小股 憲明 氏 (大阪府立大学名誉教授)	25名

(14) その他の取組

県民の学習機会の提供、読書振興及び文化的なゆたかさの向上に資するため、様々な世代に向けた行事等を開催した。

① 「大人のためのおはなし会」

子どもだけでなく大人自身が絵本を楽しむ読書スタイルが広がりを見せていることから、子育て世代を中心として絵本に関心のある大人を対象に、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせを実施した。

- ・開催状況 第1回 平成30年6月16日(土)
- 第2回 平成30年9月17日(月)
- 第3回 平成31年1月19日(土)

② 「理科読」教室及び指導者育成研修講座

子どもたちの科学・理科に対する好奇心や学ぶ意欲を育む取組である「理科読」を広めるため、科学に関する本の読み聞かせと理科の実験を組み合わせた「理科読」教室及び指導者育成研修講座を実施した。

期 日	内 容	講 師	参加者
8月21日 (火)	【第1部】子ども理科読教室 対 象：小学3～6年生 テーマ：「じっけん・はっけん・理科読 ～空気はおもいの？」 【第2部】理科読指導者育成研修講座 対 象：図書館職員、教職員、学生、 子どもの読書に関心のある 大人 テーマ：「理科読しよう 空気の本」	土井 美香子 氏 (NPO 法人ガリレオ工房)	【第1部】13名 【第2部】20名
3月10日 (日)	対 象：小学3～6年生 テーマ：「色のせかいをたのしもう～ 光とえのぐの色はちがう の？」	南九州大学 学生	14名

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び県立図書館条例（昭和25年条例第49号）第2条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委員（任期：平成30年7月1日～令和元年6月30日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学地域資源創生学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社生活文化部次長	川路 善彦
〃	小林市立図書館長	山下 町子	〃	宮崎県中小企業家同友会事務局長	結城 美佳
学校教育関係者	宮崎県立高鍋高等学校長	児玉 康裕	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県PTA連合会副会長	湊 智美
〃	宮崎市立大淀小学校教諭	廣瀬 宏子	〃	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター理事	長谷川 恵子
社会教育関係者	特定非営利活動法人みやざき自然塾(公募委員)	高見 晋一	〃	会社員(公募委員)	小久保 利博

※所属・職名は平成30年7月1日現在（一部委員につき任期途中の交代等あり）。

② 平成30年度の開催状況（2回開催）

開催年月日	協議事項
平成30年8月8日(水)	ア 宮崎県立図書館の最近の動向について イ 図書館評価について ウ 生涯読書活動推進計画について
平成31年2月27日(水)	ア 平成30年度 宮崎県立図書館の主な動きについて イ 平成31年度宮崎県立図書館運営方針等について ウ 神話・伝承等の「語り部」の養成・活用推進について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

平成30年度は、下記のと通りの事業を実施した。

① 役員名簿（平成30年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	金子洋士	
副会長	小林市立図書館長	山下町子	
〃	西米良村立図書室長	古川信夫	
監事	都農町民図書館長	黒木和秀	
〃	門川町立図書館長	松田朝子	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	

② 事業実績 〈会議〉

期日	会場	議題
平成30年 5月28日	県立図書館	I 総会 1 平成29年度事業実績及び収支決算報告 2 平成30年度事業計画案及び収支予算案 3 平成30年度役員選出 II 表彰式 III 事務連絡 (1) 県立図書館各担当 ・県立図書館利用の手引きの説明 ・有料宅配サービス (2) 環境情報センター ・出前講座の紹介等 (3) 生涯学習課 ・専門研修について IV 分科会 1 管理担当者部会 ・図書館運営の在り方について ・職員の資質向上について ・身体に障がいのある方の雇用等について 等 2 実務担当者部会 ・延滞資料の対応について ・県内の相互貸借の条件等について ・利用者対応について 等
平成31年 3月4日	県立図書館	中心館会議 1 平成30年度各支部の事業執行状況について 2 平成31年度に向けて

<研 修>

期 日	会 場	議 題
平成 30 年 7月 2日	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） ・説明 「図書館ネットワークの活用法について」 ・講義 「資料の収集等について」 ・講義 「著作権について」 ・ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」
平成 30 年 7月30日	県立図書館	職員研修 ・講義「図書館で地域が変わる、未来を拓く」 ～ソーシャルイノベーションを起こす図書館へ～ 講師 太田 剛 氏 (図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター)
平成 30 年 8月27日	県立図書館	専門研修会 ・講習会「みんなで音読 音読教室に挑戦」 講師 中尾 有希子 氏 (鳥取県立図書館 郷土資料課長)
平成 30 年 10月29日	県立図書館	専門研修会 ・研修会「子供と読書」 講師 伊藤 明美 氏 (日本女子大学非常勤講師 元浦安市立図書館司書)
平成 30 年 11月19日	県立図書館	レファレンス研修会 ・講義 「レファレンスツールを使いこなす」 ～豊かな資料・情報の提供をめざして～ 講師 藤村 せつ子 氏 (くにたち中央図書館)
平成 30 年 12月17日	新富町総合 交流センター きらり	地区別研修会 ・講義 「児童サービスから始まる地域資源再発見」 講師 島津 芳枝 氏 (宇佐市民図書館副主幹 司書)
平成 31 年 2月 12日	県立図書館	レファレンス研修会 ・講義 「レファレンスの基本 ーサービスを見せていく図書館員の役割ー」 他 講師 齊藤 誠一 氏 (千葉経済大学短期大学部 教授)

<県外研修派遣>

4名

<図書館アドバイザー派遣>

11館 15名

③ 平成30年度総会表彰者名簿

<読書普及優良団体・個人>

読書団体名	代表者名
細野ママーズ (小林市)	前原 直美

<優良職員>

所 属	職 名	氏 名
該当者なし		

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

<理事会>

平成30年5月23日(水) 会場：県立図書館研修室
総会に諮る決算・予算、事業計画と役員改選等について審議が行われた。

<地区別協議会・理事会・総会・研究発表会>

平成30年6月13日(水) 会場：県立図書館研修ホールほか
・総会

地区別協議会・理事会で役員の選考を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、10月の秋季研究発表大会宮崎市佐土原大会について、佐土原地区郷土史同好会の担当者から概要説明があった。

・研究発表会

宮崎公立大学学長の有馬晋作氏に「西南戦争における郷土従軍の背景 ―宮崎の動向も含め―」をテーマに講演していただいた。

<秋季研究発表大会>

宮崎市佐土原大会（宮崎市）
平成30年10月26日(金) 参加者111名
内容 午前～視察（大光禅寺、商家資料館、佐土原人形ますや、鶴松館ほか）
午後～研究発表
発表題：「佐土原城天守台の発掘調査」
講師：竹中 克繁 氏（宮崎市市教育委員会文化財課）

<その他>

「地方史みやざき 第63号」の発行

② 役員及び加入団体

<役員> 任期：平成30年6月～平成32年6月

会 長 橋本 孝則（都城史談会）
副 会 長 柏田 公和（日向市史談会）、岩切 昭一（高鍋史友会）
吉田 美代治（串間史談会）
監 事 齋藤 勉（小林史談会）、湯浅 倉平（個人理事）
地区理事 後藤 博文（延岡史談会）、椎 敏夫（木城史友会）
亀澤 轟幸（えびの市史談会）、原口 勝（佐土原地区郷土史同好会）
神保 侃弘（日南郷土史会）、牧 貴（月刊宮崎とらや郷土文化研究所）
顧 問 杉尾 良也（宮崎県地方史研究会）、飛田 博温（高鍋史友会）
事 務 局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

(平成31年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	後藤 博文	延岡市	佐土原地区郷土史同好会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市 教育委員会	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	椎 敏夫	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	岩切 昭一	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	長津 宗重	宮崎市	南九州文化研究会	山下 博明	都城市
宮崎県地方史研究会 ※休会	杉尾 良也	宮崎市	日南郷土史会	神保 侃弘	日南市
宮崎県総合博物館	黒木 義博	宮崎市	串間史談会	吉田 美代治	串間市
宮崎県民俗学会	前田 博仁	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市
宮崎県埋蔵文化財 センター	長峯 勝志	宮崎市			
月刊宮崎とらや郷土 文化研究所	牧 貴	宮崎市			

○団体会員：17団体 個人会員：5名

(4) 令和元年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育学部教授	個人委員
2	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	〃
3	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
4	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部准教授	〃
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
6	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
7	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
8	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学 国際教養学部学部長補佐 地域連携センター副センター長	〃
9	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
11	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
12	〃（外国語一般）	川添 哲郎	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
13	文学	大津 貞子	あじさい読書会 代表	〃
14	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
15	自然科学・歴史	黒木 義博	県総合博物館長	あて職委員
16	美術	四本 孝	県立美術館長	〃
17	行政	矢野 雅博	企業振興課長	〃
18	教育	金子 文雄	教育研修センター所長	〃
19	産業（フードビジネス）	本崎 栄治	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
20	健康	和田 陽市	宮崎県福祉保健部次長（保健・医療担当）	〃
21	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	〃
22	工学	弓削 博嗣	工業技術センター所長	〃
23	土木・建築	石井 剛	技術企画課長	〃
24	農業	甲斐 典男	総合農業試験場長	〃
25	水産	田中 宏明	水産試験場長	〃
26	畜産	徳留 英裕	畜産試験場長	〃
27	林業	日高 和孝	林業技術センター所長	〃
28	体育	川本 忠	スポーツ指導センター所長	〃
29	福祉（障がい者）	丸山 裕太郎	障がい福祉課長	〃
30	考古学	山元 高光	埋蔵文化財センター所長	〃

【 参考資料 】

1 沿革

(1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和 49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和49年 3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年 3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年 1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年 3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年 1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年 3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年 3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年 1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年 3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。
昭和58年 1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設設計画作成委員会で新館建設設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5 号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。
昭和 63 年 10 月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11 月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成 元年 2 月	全国図書館大会準備会発足。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 元年 2月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書館展」「稀覯資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成 2年 1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成 3年 1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成 4年 3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成 5年 2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。
平成 5年 7月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。
平成 6年 1月	「杉田文庫 常設展」開催。
3月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかげ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業特別展「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 11 年 3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会開催。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）。
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	中村地平生誕 100 年記念講演会開催。 「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 1 月	宮崎県町村会主催 県立図書館共催により「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催。
2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 22 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。
4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 AV コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9 月 26 日から 11 月 26 日まで）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3, 000 冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアデジ体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 39 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 4 月	子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。
5 月	伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」(語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉)を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記 (十五) 刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館 (福岡アメリカンセンター) 及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法一』」開催。
2 月	新県立図書館システム (iLisfiera V3) 稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記 (十六) 刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	「九州地区図書館の集い」を共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設 (全 20 席)。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記 (十七) 刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止 (平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行)。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成28年11月	県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。
平成29年1月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第43輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）刊行。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 ストリートブックフェア in みやざき国際ストリート音楽祭2017にて出展。
5月	プレミアムフライデーと連動し働く世代と家族向けミニイベント実施（～12月毎月1回）。
6月	若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全878冊）。 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」で県内高校生におすすめの本を募集（～10月）。
8月	大人のためのおはなし会開始。 「理科読」事業開始。
10月	名誉館長文化講演会「若山牧水と『創作』」開催。 「みどりの図書館フェスタ」台風接近による天候不良のため開催中止。 対がん情報コーナー設置。
12月	「宮崎県立図書館ビジョン」策定。 トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」開催。 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。 「かば先生文庫」寄贈5周年記念おはなし会開催。
平成30年2月	若山牧水没後90年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう～対談・討論・読書活動の集い～」を宮崎大学と連携して開催。
3月	宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」策定。 宮崎県文化講座研究紀要第44輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）刊行。
4月	宮崎大学との連携協力に関する協定締結。
5月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 中・高生に伝えたい『おすすめの一冊』」作品募集（～7月）。
7月	「がん相談支援に関する講演会・相談会」を宮崎大学と連携し初めて開催。
10月	「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催。 県立図書館書庫増設検討委員会設置。
11月	故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈。
平成31年3月	屋上防水改修工事（工区1）完了（工期10/23～3/25）。 宮崎県文化講座研究紀要第45輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十）刊行。

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼	27	昭和 47. 4	昭和 48. 3	杉田 利治	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼	28	" 48. 4	" 51. 3	藪田 穂	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 主事兼	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保博秋	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第 3号)
(最終改正 平成30年3月 教育委員会規則第11号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関する事。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関する事。
- (3) 予算の執行及び決算に関する事。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- (5) 公印の管守に関する事。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関する事。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関する事。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関する事。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関する事。
- (10) 県立図書館協議会に関する事。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さない事。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関する事。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関する事。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関する事。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関する事。
- (5) 図書館資料の利用に関する事。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関する事。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関する事。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、図書館に、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
(複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。
(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

- 2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。
(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

- 2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

- 3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。
(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

- 2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。
(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

- 2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）

(2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

- 附 則**（平成2年4月17日教育委員会規則第8号）
この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則**（平成4年8月25日教育委員会規則第8号）
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
- 附 則**（平成7年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成8年3月29日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成9年5月22日教育委員会規則第5号）
この規則は、平成9年6月1日から施行する。
- 附 則**（平成13年3月30日教育委員会規則第9号）
この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成16年3月29日教育委員会規則第8号）
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成18年3月30日教育委員会規則第12号）
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成20年3月31日教育委員会規則第6号）
この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成23年2月21日教育委員会規則第1号）
この規則は、平成23年3月1日から施行する。
- 附 則**（平成23年7月21日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成23年8月1日から施行する。
- 附 則**（平成27年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則**（平成30年3月29日教育委員会規則第11号）
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条** 県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条** 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条** 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

3 施設概況

(1) 構造

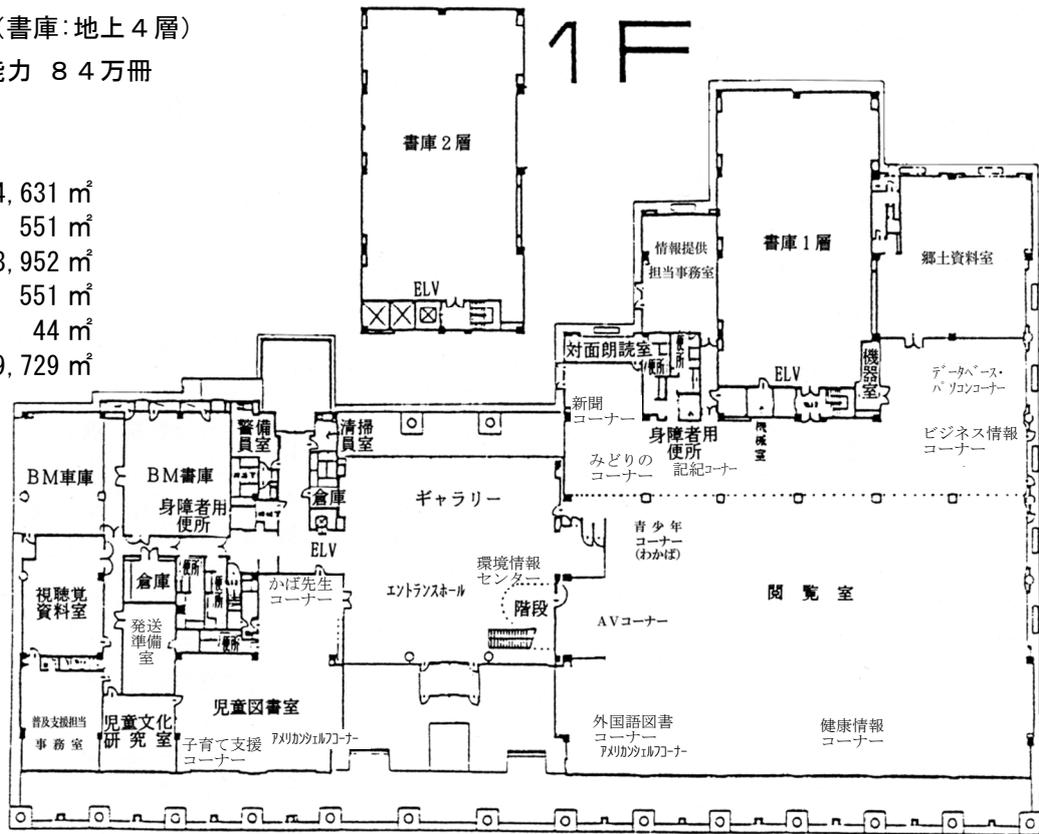
鉄筋鉄骨コンクリート造

地上2階（書庫：地上4層）

図書収蔵能力 84万冊

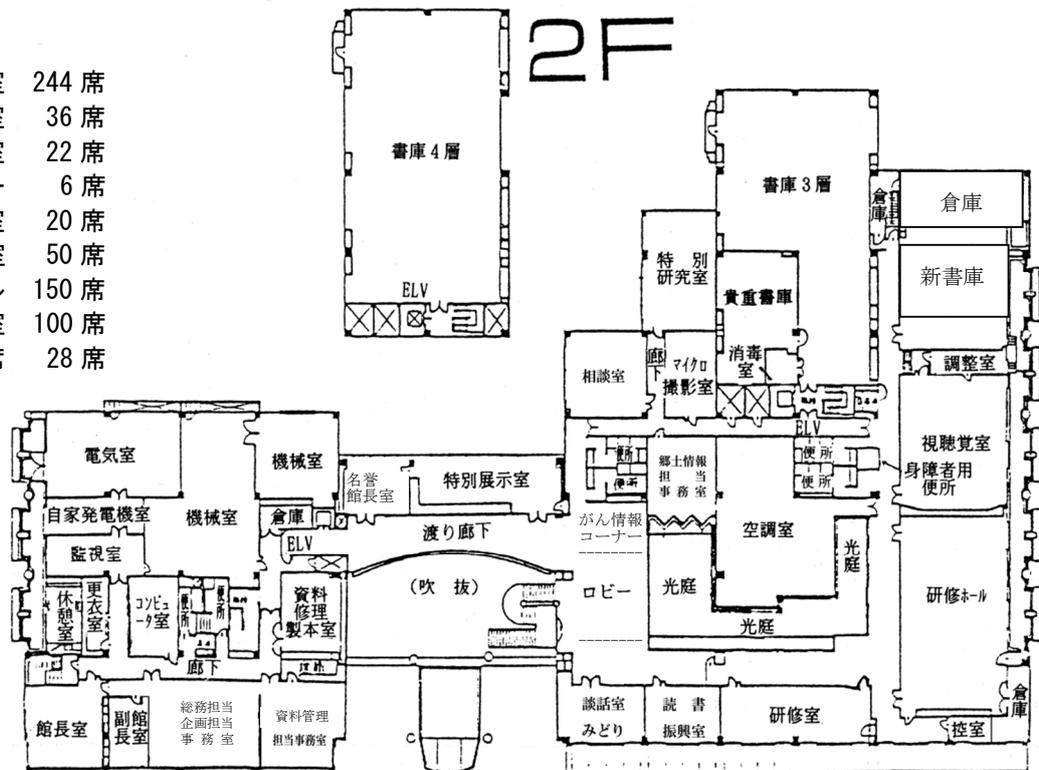
(2) 床面積

1階	4,631 m ² 551 m ²
2階	3,952 m ² 551 m ²
屋階	44 m ²
合計	9,729 m ²



(3) 座席数

一般閲覧室	244席
郷土資料室	36席
児童図書室	22席
AVコーナー	6席
読書振興室	20席
研修室	50席
研修ホール	150席
視聴覚室	100席
パソコン席	28席



4 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（令和2年2月17日～令和2年2月28日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ	情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

(5) 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp（代表）

service@miyazaki-pref-lib.jp（サービス）

soudan@miyazaki-pref-lib.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	二宮 俊尚	〒890-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平 6. 5
宮崎市立佐土原図書館	関盛 和光	〒890-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16. 4
都城市立図書館	井上 康志	〒895-0071 都城市中町16街区15号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23. 4
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	〒895-1202 都城市高城町穂崎坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21. 4
延岡市立図書館	丸山 奈穂美	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	大 7. 7
延岡市立図書館北方分館	稲村 浩 (兼)北方分館長	〒882-0125 延岡市北方町川水渡印1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13. 4
延岡市立図書館北浦分館	佐藤 繁 (兼)北浦分館長	〒899-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24. 3
延岡市立図書館北川分館	赤木 正久 (兼)北川分館長	〒899-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25. 4
日南市立図書館	宮口 美子 (兼)生涯学習課長	〒899-2535 日南市鉄肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25. 1
日南市立まなびピア図書館	宮口 美子 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14. 3
日南市立北郷図書館	宮口 美子 同上	〒899-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元. 8
日南市立南郷図書館	宮口 美子 同上	〒899-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX -----	平 7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒896-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41. 6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒896-0212 小林市野尻町東籠1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22. 3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒896-0111 小林市須木中津1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX -----	平22. 3

館名	館長名	所在地	創設年月
日向市立図書館	柏田 須美	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24.4
中間市立図書館	黒木 さやか	〒888-0001 中間市大字西方6524番地56 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51.4
西都市立図書館	妹尾 康弘 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2806番地1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	北方 俊二	〒899-4311 えびの市大字大明町2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50.7
三股町立図書館	石崎 敬三 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字榎山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13.4
国富町立図書館	松岡 徳 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒890-1302 東諸県郡綾町大字北保642番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平16.7
町立高嶺図書館	島笠内 遼 (兼)美術館長、中央公民館長、歴史資料館長	〒884-0003 児湯郡高嶺町大字南高嶺551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30.3
新富町図書館	倉永 浩幸	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28.4
川南町立図書館	丸濱 晃一	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11.4
都農町民図書館	黒木 幸浩 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-0316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	松田 朝子	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14.3
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代645番地1 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636	平11.4
美郷町立北郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷宇納間601番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15.5
美郷町立南郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-1119	平24.4
高千穂町立図書館	濱田 琢一 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49.7

※平成31年4月1日現在。



Live!
Library
Miyazaki Prefectural Library

宮崎県立図書館

どこでも・ささえる・つながる図書館

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

情報提供課

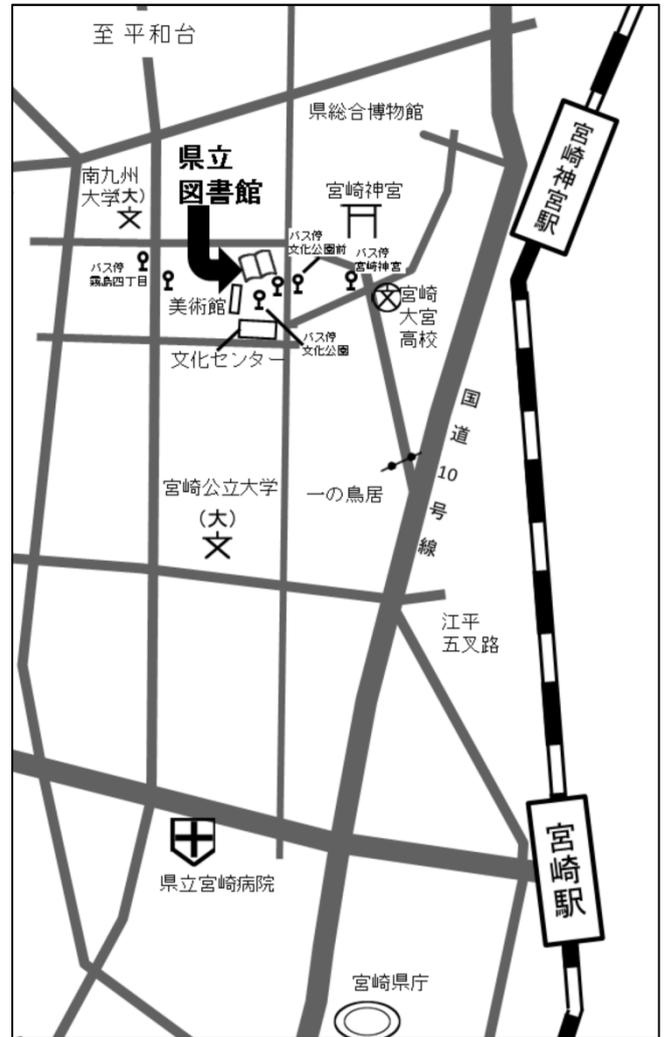
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp (代表)

ホームページアドレス

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和元年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 令和元年6月

発行人 宮崎県立図書館

